

令和4年度コロナ禍・後を見越した
新たな地域コミュニティ構築事業

事業実施報告書

株式会社アネシス

【本事業の目的】

沖永良部島の知名町は令和2年に「第6次知名町総合振興計画」を作成し、「21の暮らしを大切に、21の未来を創る子や孫が誇れるまちづくり」をビジョンとして掲げており、同町における21の字集落の主体性や独自性を生かした字住民一人一人の活動の重要性が述べられている。しかし、現在も続いている新型コロナ禍の影響により、集落の主体性や独自性を支えてきた行事や活動が中止、延期せざるを得ない状況であり、コロナ禍後における活動の蓄積や継続が危ぶまれている。

そこで、本事業では、単に新型コロナ禍前の活動に戻すという視点ではなく、これまでの活動蓄積を踏まえつつも、改めてコロナ禍後を見据えた「住民一人ひとりの字づくりへの参加・参画の促進」「新たな活動主体の獲得」「地域産業との連携」とそれらに基づく持続可能な、自走可能な地域づくりを進めていくための仕組みを構築することを目的とし、対象は住吉字とした。

【事業の方法】

事業の方法として、まず住吉字の状況を把握するため、各種行政資料の分析および現地のフィールドワークを行った。次に、住吉字の現在の人口構成とコロナ禍後の行事や活動の見直しのためのキーワード抽出を目的に、住民アンケート調査を行った※1。同アンケート調査をもとにワークショップを行い、さらにパネルディスカッションを通して地域産業および移住者との意見交換を行った※2。ワークショップのまとめとして、コロナ禍後の住吉字で具体的に取り組むべき行事や活動の項目と実現に向けた活動計画のイメージの共有を行った※3。

※1 活動報告②「住吉字×(株)アネシス打合せ」

添付資料編：①実施アンケート②アンケート報告書参照

※2 活動報告⑪「第2回ワークショップ」参照

※3 活動報告⑪「第2回ワークショップ」、⑫「第3回ワークショップ」参照

【成果】

成果は以下の3点とする。

1つ目は、字住民の協力のもと、高い回収率となったアンケート調査により、住吉字の年齢構成が把握された結果、同字における5-10年後の活動主体の年齢構成が高齢化することが字住民内で情報共有された。これにより、今後

の字集落の行事や活動の見直し、及び、活動主体としての青壮年層の確保（特にI・Uターン者の存在）が必要であることが認識された。

2つ目は、パネルディスカッションの開催により、知名町および住吉字の産業や労働環境に関する現状や課題が字住民と共有され、U・Iターン者の就業の問題や住宅問題に関して、産業と字の連携が重要であることが認識された。また住吉字は、住みよい地域として認識されているが、移住者等が移り住む空き家や住宅等があまりない点が確認された。さらに住吉海岸の夕日の美しさ等、字内には観光資源となりえる場所が多く、産業と字との協働による新たな観光産業の可能性が提案された。

3つ目は、「住みよい字にするためにはどうするか」という問いを中心に、ワークショップによって6つの具体的なテーマが設定された※4。同テーマに対し、より具体的なキーワードを抽出し、時間軸としての「短期⇄長期」、活動軸としての「個人⇄協働」のマトリックス表を用いて整理した。その結果、それぞれの活動テーマの実現に向けた取り組みの特徴と具体的なアプローチについて理解が深まった。さらに「敬老会」「移住環境の整備」という具体的なテーマを取り上げ、すぐに出来る事（短期）、仲間づくりや無理なく継続できる仕組み（中期）、組織化に向けた準備（中-長期）という枠組みで整理を行い、計画実施に向けた方法への理解と認識が深まった。同成果をもとにコロナ禍後の住吉字における「地域づくりの仕組み」の構築が行われた。

以上の件に関して、最終報告会を実施し、事業報告及び成果について報告を行うとともに字全体への活動の共有を行うことで字内での次のアクションにつながるように努めた。

※4 活動報告⑩「第1回ワークショップ」参照

【課題】

課題は、持続可能・自走可能な地域づくりに向けたより具体的な方法についての更なる吟味とPDCAサイクルにおける具体的な行動やチェック、さらには分析の方法を今後どのように字全体に広げていくか、リフレクションできる環境を整えるかという点である。現状としては、字役員をはじめとしたワークショップ参加者が字の未来像を真剣に考え始めている中で、比較的若い世代を中心にLINEグループが形成され、青壮年層における組織化の可能性が高まる中、世代間を超えたつながりがその原動力となることが期待される。

プロジェクト日程一覧

●令和4年度コロナ禍・後を見越した新たな地域コミュニティ構築事業「住吉字プロジェクト」日程一覧

No.	日付	時間	内容	参加者
1	令和4年8月26日(金)	15:00-16:00	知名町との打ち合わせ	元栄課長・永野課長補佐・有田・吉留
2-①	令和4年8月27日(土)	19:00-21:00	キックオフミーティング (金子先生による基調講演同時開催)	住吉字：奥村区長他役員・有田・吉留・オンライン：金子(満)・永野課長補佐
3	令和4年9月7日(水)	19:00-20:00	字会議前の事前打ち合わせ会議 (会議の進め方及びスケジュール確認：オンライン開催)	永野課長補佐・外山氏・有田・吉留
4-②	令和4年9月10日(土)	19:00-21:00	住吉字役員との会議(アンケート内容：オンライン開催)	オンライン：住吉字：奥村区長他役員・永野課長補佐・有田・金子(満)・吉留
5-②	令和4年9月14日(水)	15:00-15:30	字会議前の事前打ち合わせ会議 (アンケート内容：オンライン開催)	永野課長補佐・外山氏・吉留
6	令和4年9月15日(木)	19:00-21:00	住吉字役員との会議(アンケート最終確認：オンライン開催)	住吉字：奥村区長他役員・永野課長補佐・有田・金子(満)・金子(陽)・吉留
7-③	令和4年10月24日(月)	15:00-16:00	知名町商工会からのヒアリング	知名町商工会：有村様、吉留
8-④	令和4年10月26日(水)	19:00-21:00	字でのアンケート報告会	住吉字：字役員のみなさま・有田・金子(陽)・吉留 オンライン：金子(満)
9-⑤	令和4年11月9日(水)	19:00-21:00	住吉字役員との会議(アンケート最終報告：オンライン開催)	住吉字：奥村区長他役員・永野課長補佐・有田・金子(満)、吉留
10-⑤	令和4年11月16日(水)	19:00-21:00	住吉字役員との打ち合わせ(次のアクションについて：オンライン開催)	住吉字：奥村区長他役員・永野課長補佐・有田・金子(満)
11-⑤	令和4年12月5日(月)	19:00-21:00	住吉字役員との事前打ち合わせ(字全体会議について：オンライン開催)	住吉字：奥村区長他役員・有田・金子(満)・吉留
12-⑥	令和4年12月18日(日)	19:00-21:00	字全体へのアンケート最終報告及びこれからの活動についての説明	住吉字：役員、小組合、壮年部、婦人部のみなさま・永野課長補佐・有田・金子(満)・金子(陽)・吉留
13-⑦	令和4年12月19日(火)	11:00-12:00	知名町商工会青年部長金城様とのミーティング	知名町商工会青年部：金城部長・有田・吉留
14	令和5年1月10日(金)	18:00-19:00	知名町との進捗ミーティング(オンライン開催)	永野課長補佐・外山氏・有田・金子(満)、吉留
15-⑧	令和5年1月20日(金)	15:00-16:00	えらぶ島づくり事業協同組合へのヒアリング	えらぶ島づくり事業協同組合：金城事務局長、寺内氏・有田・吉留
16-⑧	令和5年1月20日(金)	16:00-17:00	おきのえらぶ島観光協会へのヒアリング	おきのえらぶ島観光協会：西事務局長・有田・吉留
16-⑩	令和5年1月21日(土)	19:00-21:00	第1回ワークショップ	住吉字：奥村区長他役員+参加者・永野課長補佐・金子(満)・有田・吉留
17-⑨	令和5年2月7日(火)	19:00-20:00	第2回目研修会に向けての事前打合せ(オンライン開催)	えらぶ島づくり事業協同組合：金城事務局長、寺内氏・知名町商工会青年部：金城部長・金子(満)・有田・吉留
18-⑪	令和5年2月11日(土)	19:00-21:00	第2回目ワークショップ	住吉字：奥村区長他役員+参加者・永野課長補佐・えらぶ島づくり事業協同組合：寺内氏・知
19	令和5年2月17日(金)	18:00-19:00	第3回目ワークショップに向けての事前打ち合わせ(オンライン開催)	永野課長補佐・金子(満)・有田・吉留
20-⑫	令和5年2月18日(土)	19:00-21:00	第3回ワークショップ	住吉字：奥村区長他役員+参加者・永野課長補佐・金子(満)・有田
21-⑬	令和5年3月4日(土)	19:00-21:00	プロジェクト報告会	住吉字：奥村区長他役員+参加者・永野課長補佐・金子(満)・吉留

※番号横の○数字は「プロジェクト経緯・内容報告」内の番号です

活動報告

令和4年度コロナ禍・後を見越した新たな地域コミュニティ構築事業 「住吉字プロジェクト」活動報告

①住吉字のプロジェクトキックオフミーティング

日時 令和4年8月27日（土）19:00～20:00

出席者 住吉字：奥村区長、藤田小組合長、外山監事
中西壮年団長

知名町：永野課長補佐

(株)アネシス：有田、吉留、

オンライン参加 金子（満）、金子（陽）

【内容】

●金子満先生によるコミュニティ再構築についての
基調講演（オンライン）

●本プロジェクトの趣旨及びスケジュール説明

※新型コロナ感染の状況を見据えつつ、
進め方についての内容変更を決定（アンケート実施）



②住吉字×(株)アネシス打合せ

日時 令和4年9月10日（土）19:00～21:00

令和4年9月15日（木）19:00～21:00

出席者 住吉字：奥村区長、藤田小組合長、外山監事、
中西壮年団長

知名町：永野課長補佐（企画振興課）

(株)アネシス：有田、金子、吉留

議題)

①アンケート実施の趣旨目的の確認

②アンケート実施方法について

・期間 9月中配布→10月15日締め切り

・配布枚数 字の全員の数を印刷

・報告会 令和4年10月26日（水）予定

③アンケートの実施のためのチラシ内容精査

④その他 タブレット送付について

添付資料「住吉字プロジェクトについて」にて説明

添付資料「実施アンケート」
全戸配布実施

アネシスから字に貸出提供された
タブレットを活用した会議



③知名町商工会からのヒアリング

日時 令和4年10月24日（月）15:00～16:00

出席者 知名町商工会：有村経営指導員
（株）アネシス：吉留

【内容】

- 知名町の産業全般に関するヒアリング
- 知名町商工会の活動に関するヒアリング
- 字活動との連携等に関するヒアリング及び働き方改革について
- 目指すべき知名町の未来像へのヒアリング

④字でのアンケート報告会

日時 令和4年10月26日（水）19:00～21:00

出席者 字役員のみなさま（約30名）

（株）アネシス：有田、金子（陽）、吉留

【内容】 オンライン 金子（満）

- アンケート結果報告
- アンケート結果を経て見えてきたこと

添付資料「住吉字アンケート結果報告会資料」
を使用しての説明

添付資料「アンケート
報告書」を全戸配布



⑤住吉字との打ち合わせ

日時 令和4年11月9日（水）19:00～21:00
令和4年11月16日（水）19:00～21:00
令和4年12月5日（月）19:00～21:00

出席者 住吉字：奥村区長、藤田小組合長、外山監事
中西壮年団長
知名町：永野課長補佐
（株）アネシス：金子（満）、有田、吉留

【内容】

- アンケート最終分析報告
- アンケート結果を基にした次のアクションへの打合せ
- 12月18日字全体への報告会についての内容打合せ
- 今後のスケジュール等

⑥字でのアンケート拡大報告会

日時 令和4年12月18日（水）19:00～21:00

出席者 字役員、壮年部、婦人部等のみなさま（約40名）
知名町：永野課長補佐
（株）アネシス：金子（満）有田、金子（陽）、吉留

【内容】

- アンケート結果報告
- 次回のミーティングの内容の共有
- 今後の流れについて

添付資料「住吉字アンケート分析報告」
を使用しての説明



⑦知名町商工会青年部長からのヒアリング

日時 令和4年12月19日（火） 11:00～12:00

出席者 知名町商工会青年部：金城部長

（株）アネシス：有田、吉留

【内容】

- 知名町内の産業の状況についてのヒアリング
- 知名町内のUターン者の状況についてのヒアリング
- 商工会青年部と字の関係についてのヒアリング

⑧えらぶ島づくり事業協同組合・おきのえらぶ島観光協会からのヒアリング

日時 令和5年1月20日（金） 15:00～17:00

出席者 えらぶ島づくり事業協同組合：金城事務局長、寺内氏

おきのえらぶ島観光協会：西事務局長

（株）アネシス：有田・吉留

【内容】

- えらぶ島づくり事業協同組合
 - ・沖永良部の産業全般と採用状況について
 - ・沖永良部内のUターン者の動き
 - ・えらぶ島づくり事業協同組合の取り組んでいる内容
 - ・えらぶ島づくり事業協同組合の課題
 - ・字との連携の現状及び可能性
- おきのえらぶ島観光協会
 - ・沖永良部の観光産業の状況
 - ・沖永良部観光についての課題
 - ・字との連携の現状及び可能性
 - ・住吉字での活動の状況

⑨2/11第2回ワークショップについての事前打ち合わせ

日時 令和5年1月20日（金） 15:00～17:00

出席者 えらぶ島づくり事業協同組合：金城事務局長、寺内氏

知名町商工会青年部：金城部長

（株）アネシス：金子（満）・有田・吉留

【内容】

- 2月11日開催の学習会：パネルディスカッションの流れ説明
- それぞれで発言したい内容の整理

⑩第1回ワークショップ

日時 令和5年1月21日（土）19:00～21:00

出席者 住吉字：字役員＋参加者

知名町：永野課長補佐

(株)アネシス：金子（満）、有田、吉留

【内容】

- ①学習会「住吉字の10年後の人口を考える」
- ②ワークショップ「アンケートから導きだされる次の一手」
- ③学習会＋ワークショップ「住吉をすみよい字とするために」



添付資料「第1回ワークショップ資料」を活用

添付資料「第1回ワークショップ報告書」を振興センターに掲示

1/21 字ミーティングに参加した方が考えた 「どのような字にしたいか？」

ワークショップの進め方

今回のワークショップでは参加したみなさんをランダムにグループ分けし、グループ内の話し合いをベースに進めました。以下がその内容です。

- ①「こんな字には住みたくない」という内容を全員で意見出し
 - ②「こんな字には住みたくない」の意見を似た意見ごとに集約
 - ③②で集約した内容と真逆のイメージを考えることで「住みたい字」のキーワードを洗い出す
 - ④「住みたい字」のキーワードと現在の住吉字の現状を比較し、何が必要かを考える（次回以降のミーティングでより深く考える）
- 例) ①意見出し「汚い」・「ごみの多い字」→②「きたない字」
→③「きれいな字」（「きたない字」の逆）
→④字の現状：ぱっと見ごみがない・字内清掃がある
道を泥で汚している 等

【結論】みんなで考えた「住みよい字の条件」

- ①日常的にあいさつにあふれ、会話の多い字
- ②相手を理解しつつ、協調・協力のある字
- ③清潔で明るさのあふれる字
- ④住む人の必要な環境が整っている字
- ⑤必要な行事があり、行事を通じてつながりが深まる字
- ⑥若い人や子どもが多く、活気のある字

【結論に至った際の各キーワード】

- | | |
|---|---|
| <p>①について</p> <ul style="list-style-type: none">・コミュニケーションが盛ん・会話が多い・よくあいさつをする・共通の話題が多く、話ができる・住む人がニコニコしている・明るい人が多い <p>②について</p> <ul style="list-style-type: none">・常識のある人が多い・相手を尊重する・プライバシーが守られる・協調性がある・協力的である <p>③について</p> <ul style="list-style-type: none">・きれいな環境・よい香り・ごみがない | <p>④について</p> <ul style="list-style-type: none">・子ども安心できる環境・環境設備が整っている・ネット環境の充実・交通の利便性が高い・商店が多い・よい意味で静か・住める家の充実・遊び場の制限がない <p>⑤について</p> <ul style="list-style-type: none">・母の日のつどいのような行事を残す・行事がほどほどにある・みんなの楽しめるような行事は必要・行事が多くない <p>⑥について</p> <ul style="list-style-type: none">・若者が多い・子どもが多いその他 ・字が好き |
|---|---|

1/21 字ミーティングのその他の内容

【10年後の人口を予測してみました】

10年後の字の人口を予想してみると

- ①字人口が50名ほど減少
- ②20代～40代が大変少ない字になる
- ③平均年齢が5歳以上上昇する

【アンケートの再確認】

住吉字の特徴は、子育てがしやすさや安心安全を背景とした

「**人間性のよさ**」が特徴

【次の一手とは？】

第6次知名町総合振興計画に「21の暮らしを大切に、21の未来を創る 子や孫が誇れる まちづくり」とあるように

「**字の特徴**」をいかし、**未来をつくるために字で取り組むこと**

【字活動の4要素】

字活動は「環境」「組織」「日常活動」「行事」に分類でき、字の活動を考える上で、どこから手をつけるのか？等を考える際に重要な視点となる

【アンケートから見えた字の方が考える字に必要なこと】

子どもが遊べる環境や若者が活動に参加できる雰囲気、何でも相談や提案ができる環境を整えることによって
「**移住、転入した人が溶け込みやすい地域になること**」

1/21 字ミーティングに参加した感想

- ・コロナでできなくなっているが前にやっていた行事等が地域のつながりだけでなく、移住してきた方とつながりの場となるので大切だと感じた
- ・若い自分たちは字に意見をいう機会がなかったが、参加してはじめて意見をいうことができ、また聞いてもらえるんだと自信が持てたので、次も参加したいと思った
- ・住吉字の「人間性のよさ」という意味がよくわからなかったが、今日参加してみても話を聞いてもらえる環境があることなどがわかり、納得できた
- ・本日参加して字の方向性がみえてきた。新しく住む方が字で挨拶できる場として行事や日常活動が大切であることを理解できた

⑪第2回ワークショップ

日時 令和5年2月11日（土）19:00～21:00

出席者 住吉字：字役員＋参加者

知名町：永野課長補佐

(株)アネシス：金子（満）、吉留

【内容】

①学習会「迎え入れる人はどんな人かを知ろう！」

パネルディスカッション

えらぶ島づくり事業協同組合 寺内祐介氏

知名町商工会青年部 金城良太郎氏

宇山一麻氏

②ワークショップ

「『住みよい住吉字』とするために何をすべきか？」

※事前ワークシートをベースに話を進めた



添付資料「第2回ワーク
ショップ資料」を活用

添付資料「第2回ワークショップ
報告書」を振興センターに掲示

2/11 字ミーティング報告書①

2月11日に開催された字ミーティングは2部構成でした。
第1部は学習会「迎え入れる人はどんな人かを知ろう！」
と題したパネルディスカッションを開催しました。
第2部は前回の会議で決まった「住みよい字の条件」について、
更に深く考える「『住みよい住吉』となるために何をすべき
か？」と題した字の方々によるグループ討議が行われました。

■第1部パネルディスカッション

「迎え入れる人はどんな人かを知ろう！」

【パネラー】

えらぶ島づくり事業協同組合	職員	寺内祐介さん
知名町商工会青年部	部長	金城良太郎さん
	副部長	宇山一麻さん

【コーディネート】

株式会社アネシス 吉留大輔

質問①島にI・Uターンしようと思ったきっかけを教えてください

寺内：関東でITコンサルをしていたが、南の島にあこがれて調べていたら「沖永良部」を見つけ、移住を決断
金城：元々沖永良部育ちで、東日本大震災、熊本地震を現地で経験。家業継承のこともあり、戻ってきた
宇山：奥様の実家が知名町でその縁で島の魅力を知り移住を決意

質問②現在就いている仕事の内容を教えてください

寺内：えらぶ事業協同組合は、沖永良部の人材不足を解消するために人材派遣業を行ったり、U・Iターンの方々の特徴をいかしてより沖永良部の産業を活性化するための提案活動、マッチングを行っている。
金城：鉄工所を経営。インフラ関係や農業設備の鉄骨などを担っている商工会青年部では同じようにインフラ等を支えている業界の人材不足を解決するために沖永良部高校へ就職情報を一覧にして渡す等も行っており人材不足解消に努めている
宇山：自動車業に携わりつつ、商工会青年部活動にも尽力している

質問③沖永良部の産業とその採用の現状について

寺内：主幹産業である農業をはじめ、幅広い産業で人手不足に陥っている地域とのつながりがまだ浅く協同組合がサポートできている割合は小さいと感じている。その問題を解決するためにも自分たちのようなIターン者と地元との連携は必要だと感じている。

2/11 字ミーティング報告書②

質問③沖永良部の産業とその採用の現状について（続き）

寺内：また島外からの問い合わせの際によく聞かれるのは

①島の環境（特に30代、40代からは子育てについての質問も多い）

②島での仕事の話

であり、本日のような字の方々や地元商工会青年部との意見交換は非常に有意義だと感じる

また農業の繁閑期の違いを克服するために同じジャガイモ生産地である北海道と沖永良部の南北連携を国助成金を活用して進めており地域を超えたつながり等も活用しながら人手不足を解消したいと考えている。

奥村区長：住吉字の主幹産業は農業であり、特にサトウキビに関しては若い方にとってメリットのある産業だと思っている。

その理由は、サトウキビ産業は種子島～沖縄の産業であり、国としても沖縄を含む地域の産業に対しては保護を強化している背景があること、またこれから高齢化が進むため、事業継承の問題を抱えており事業継承をしながら大規模化が見込めること、初期投資が小さいことなどがあげられる

寺内：農業について、より情報を集めていくことで若手の受け入れの可能性の幅を拡げられるのではないかと感じた話だと思う

質問④仕事を作るという中で、字と協力して実現できるものについて

吉留：（おきのえらぶ島観光協会西事務局から伺った話として）

現在、観光協会では、住吉海岸は星がきれいに見える浜として紹介をしたり、ブライダル写真の撮影場所として昇竜洞や住吉海岸を活用しているという事実があり、字の人が進める観光ルートを作りたいという考えをもっているとのことで、字には埋もれている非常に魅力的な種があるような気がする

金城：働き手を探した後に住む場所がないという問題が発生することがあるので、迎え入れる字があるとうれしい

質問⑤家族を連れてのUターン者にとって字はどうみえるか？

宇山：字活動は当初行くべきかを含めて、戸惑った。ただ、自分は義父や義母が丁寧に説明や橋渡しを行ってくれたおかげで慣れることができた。字との接点をどう作ってもらえるかが島外から来る人にとってはとても重要だと思う。

金城：自分は知名字に住んでいるが区長が親戚でいろいろと面倒を見てもらえた。奥様が島外の間人だが字が公民館で歓迎会を開いてくれ、そのおかげもあって自分で様々な人脈を作ることができたために溶け込むことができたと思う。

★I・Uターン者にとって字がどう迎えてくれるか？が重要
★I・Uターン者と字とのネットワークの構築の先には
産業面でも大きな可能性がある

2/11 字ミーティング報告書③

■第2部ワークショップ

「『住みよい住吉』となるために何をすべきか？」

【前回】 みんなで考えた「住みよい字の条件」

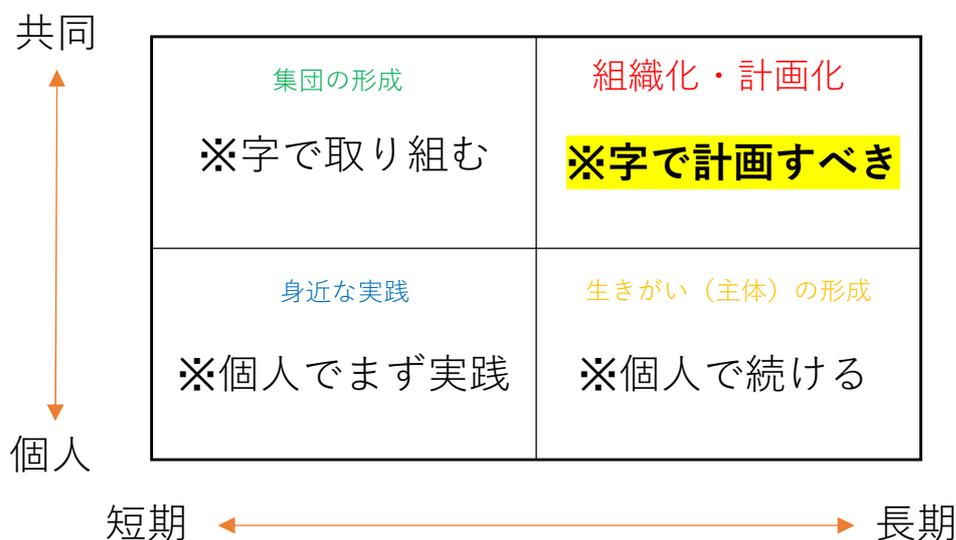
- ①日常的にあいさつにあふれ、会話の多い字
- ②相手を理解しつつ、協調・協力のある字
- ③清潔で明るさのあふれる字
- ④住む人の必要な環境が整っている字
- ⑤必要な行事があり、行事を通じてつながりが深まる字
- ⑥若い人や子どもが多く、活気のある字



【今回】 シート回収の結果、4つのテーマが選ばれ、その4つについてより深く考えるグループワークを実施

- ①まずはそれぞれのテーマについて何ができるか？を意見出し
- ②それぞれのアイデアを実現するために必要な時間と協働性の有無という2軸で考えてみる
- ③4つのテーマを全員で見直し、何が必要かを考えるというワークショップを実施
- ④字全体で計画をつくるべき内容を可視化

【アイデアについて考える際に利用したシート】



2/11 字ミーティング報告書④

①日常的にあいさつにあふれ、会話の多い字についての内容

※赤エリアが意見が多かったエリア

集団の形成	組織化・計画化
身近な実践	生きがい（主体）の形成

具体的な意見

【身近な実践】

あいさつ運動

- ・死ぬまで現役あいさつ活動
- ・率先した声掛け
- ・家でもあいさつ活動
- ・すれ違う時にあいさつ
- ・にこやかに自分から
- ・声を大きく
- ・常に笑顔

つながり強化

- ・会話のネタ作り
- ・積極的なおしゃべり

その他

- ・無視しない
- ・引きこもらない

【集団の形成】

行事の活用

- ・集まる機会をつくる
- ・行事の時に機会をつくる

その他

- ・スローガンを作る
- ・子どもたちへの声掛け

2/11 字ミーティング報告書⑤

④住む人の必要な環境が整っている字についての内容

※赤エリアが意見が多かったエリア

集団の形成	組織化・計画化
身近な実践	生きがい（主体）の形成

具体的な意見

【組織化・計画化】

住環境の整備

- ・空き家改修事業
- ・空き家の活用
- ・住む家がある
- ・住宅環境の整備
- ・安全に暮らせる住居がある

安定した収入の確保

- ・働く場所と安定した収入
- ・仕事がある

町内移動手段の整備等

- ・移動の負担軽減
- ・バスの乗り換え等の改善
- ・スーパーの出店
- ・道の舗装

【身近な実践】

美化環境活動

- ・ごみ拾い
- ・空き缶拾い
- ・草花の苗づくり
- ・草花の提供

思いやり活動

- ・周りの人の求めていることを考える

2/11 字ミーティング報告書⑥

⑤必要な行事があり、行事を通じてつながりが深まる字
についての内容

※赤エリアが意見が多かったエリア

集団の形成	組織化・計画化
身近な実践	生きがい（主体）の形成

具体的な意見

【集団の形成】

行事内容についての意見

- ・ 行事に参加することで字のつながりを強める
- ・ 隣人も振るって声掛けできる行事
- ・ 気軽に参加できる行事
- ・ 年齢に関係なく参加できる行事
- ・ 人と会う楽しみが感じれる

既存行事に関する意見

- ・ 各種団体の活動
- ・ 既存行事の改善
(暗川まつり/母の日/字清掃/敬老会)

【身近な実践】

行事への積極的参加

- ・ 行事へとりあえず参加する
- ・ 現在ある行事に参加する
- ・ 行事に積極的に参加する

その他

- ・ 家周辺の美化
- ・ 花の植栽

【その他】

コロナに関すること

- ・ 早くコロナから卒業しよう
- ・ コロナに負けない
- ・ コロナ以前に戻す

その他

- ・ 育成会の頑張ったで賞

2/11 字ミーティング報告書⑦

⑥若い人や子どもが多く、活気のある字についての内容

※赤エリアが意見が多かったエリア

集団の形成	組織化・計画化
身近な実践	生きがい（主体）の形成

具体的な意見

【集団の形成】

子どもの交流・学び

- ・子ども会の新聞をつくる
- ・子どもの学び・交流の場
- ・「住吉」を学ぶ場
- ・なんでも学べる楽しい塾
- ・育成会活動をコロナ前へ戻す

交流の場の形成

- ・わくわくするマーケット
- ・コミュニケーションの機会を増やす
- ・子ども、青年、老人、婦人、壮年がまとまる
- ・気軽に相談できる場所
- ・ものづくりワークショップ

その他

- ・名人リストをつくる

【組織化・計画化】

環境を整える

- ・公園が必要
- ・シマを出た若者が帰って来れる家を用意する
- ・住まいを増やす

その他

- ・字の得意な部分を強化する

【身近な実践】

- ・口うるさい人がいない

2/11 字ミーティング報告書⑧

今回のグループディスカッションではそれぞれのグループ内で若手の方にまとめ役をお願いして進めました。その理由はその方々が今回話している次の住吉字の中心世代となる方々で、今回の計画を自分たちの未来のための会議という位置づけにしたいという思いがあったからです。

会議が終了後にその旨をまとめ役の方に伝え、また今回パネルディスカッションに来ていただいた同世代の字外の方との連携がとれるように連絡交換を行いました。

⑫第3回ワークショップ

日時 令和5年2月18日（土）19:00～21:00

出席者 住吉字：字役員＋参加者

知名町：永野課長補佐

(株)アネシス：金子（満）、有田

【内容】

①ワークショップ「住吉字をすみよい字にするために何が必要かのアクション計画策定」（短期目標）

②ワークショップ「住吉字をすみよい字にするために何が必要かのアクション計画策定」（中長期目標）

③発表



添付資料「第3回ワークショップ資料」を活用

添付資料「第3回ワークショップ報告書」を振興センターに掲示

2/18 字ミーティング報告書①

2月18日に開催された字ミーティングはワークショップを中心に行われました。前回のワークショップでは参加者にA～Dの4グループに分かれてもらい、「住みよい住吉」に必要なことについて、マトリクス図を使用して、短期・長期という時間を軸に、個人で出来ること、字で取り組むこと、字内での組織化が必要なことに分類し、整理しました。今回のワークショップではそれを踏まえて、前半は「人と会う楽しみが感じられる行事」をテーマに敬老会について、後半は「持続可能な字になるために」をテーマに空き家活用・住宅整備について話し合いました。今回は子供たちの参加も多く、世代を超えた活発な議論が行われました。

■ワークショップ第一部

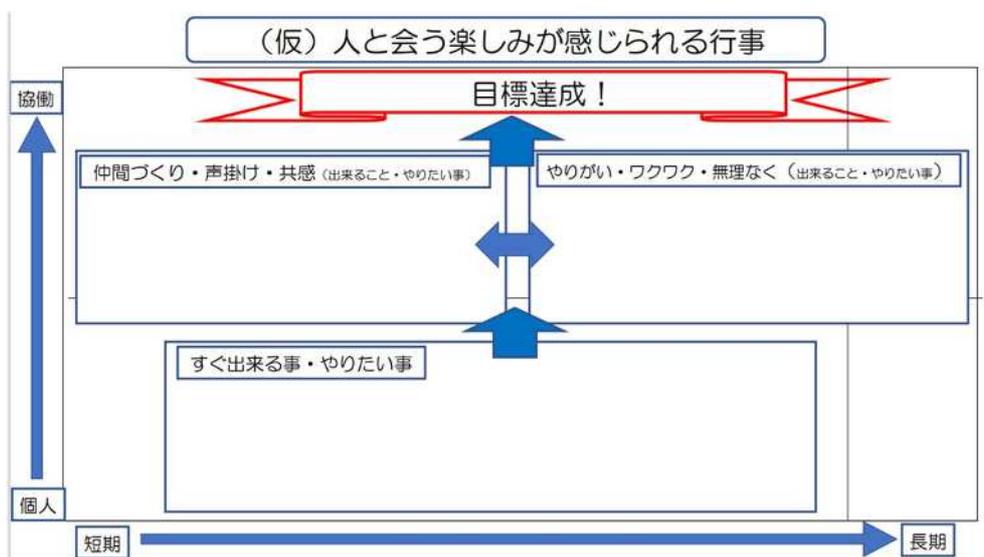
「人と会う楽しみが感じられる行事」を考えよう！

「敬老会」について話し合いを実施

選ばれた理由

今より更に「住みよい住吉」になるために、字の行事を見つめ直すことは必要不可欠です。敬老会はコロナ禍の影響で3年もの間、開催されていませんが、小さなお子さんからお年寄りまで幅広い年代が参加する字の大切な行事の一つです。準備を含めると約半年後に迫った敬老会をより楽しい行事にするために必要なことを考えました。

【アイデアについて考える際に利用したシート】



『前半ワークショップまとめ』

～住民の考えるより楽しみが感じられる敬老会とは？～

【すぐ出来る事・やりたい事】

- ・ 来られないお年寄りに対する気配り
- ・ 参加した子どもも含めて楽しめる内容
- ・ 敬老会での参加確認を利用して安否確認
- ・ 世代を超えての交流ができる内容

【やりがい・ワクワク・無理なく】

- ・ より交流がしやすい内容（ゲーム・カラオケ・昔話）
- ・ 景品等を活用して楽しい内容にする
- ・ 式典を簡略化し、負担がかからないやり方に変更
- ・ 各種団体での出し物参加

【仲間づくり・声かけ・共感】

- ・ 中高生など若い世代への呼びかけ
- ・ 各地の郷土会や外部の方への呼びかけ
- ・ オンラインの活用
- ・ 各種団体の積極的な参加

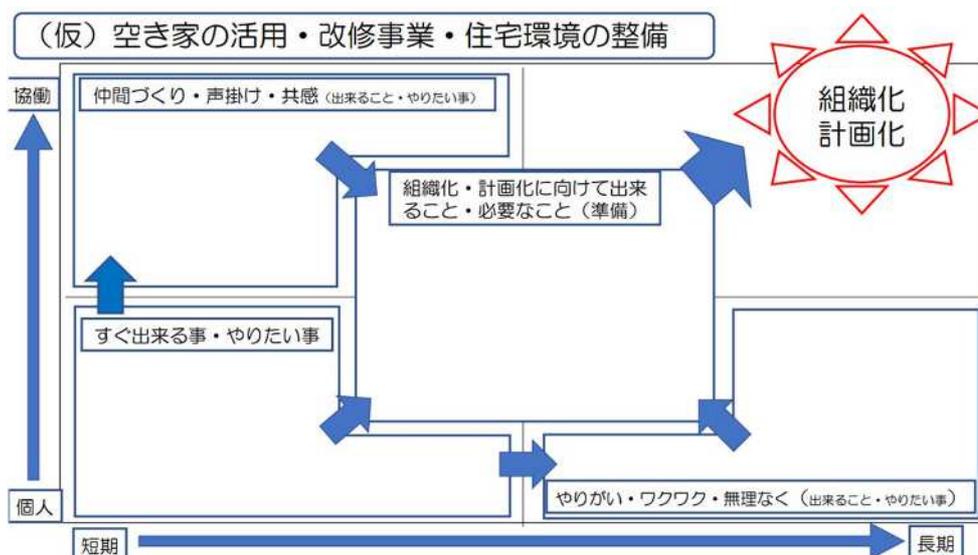
■ワークショップ第二部 「持続可能な字になるために」！

「空き家活用・改修事業・住宅整備」 について話し合いを実施

選ばれた理由

住吉字が「住みよい住吉」として住みたい地域の魅力が増すほど、忘れてはならないのが迎え入れる準備です。人が生きるうえで重要な「衣・食・住」ですが、長期的な視点で取り組まなければならないのが「住」の要素です。移住を希望される方々がいつ来てもよいように、個人として出来ること、字として取り組まなければならないことについて、今から準備することが必要として考えました。

【アイデアについて考える際に利用したシート】



『後半ワークショップまとめ』

～持続可能な字へ 空き家活用・改修事業・住宅整備を考える～

【すぐ出来る事・やりたい事】

- ・ 空き家の清掃、空き家周辺の清掃
- ・ 空き家の把握（空き家シートの作成→持ち主確認・状態把握）
- ・ 字の魅力の発信したい

【やりがい・ワクワク・無理なく】

- ・ 空き家の有効活用（ワークショップの場にしたい）
- ・ 空き家の改修を青壮年部で請け負う
- ・ ロードマップの作製（生活に直結する情報を掲載）
- ・ 魅力的な小学校が人を呼ぶきっかけに

【仲間づくり・声かけ・共感】

- ・ 移住者の歓迎会の開催や行事の伝達・役割の共有
- ・ 字の魅力をより充実させる
（高倉に三線を置く・花いっぱい運動・写真展の開催）
- ・ 字で求人案内と住みたい人の把握
- ・ 定期的なグラウンドゴルフの開催

【組織化・計画に向けて出来る事】

- ・ 意見として町に対する要望が多くみられた
（ネット環境整備 上下水道の設置 軟水器の設置 住宅の建設など）
- ・ 字で移住者の面接・住居管理を行う
- ・ 字で雇用と求人の把握
- ・ D I Yグッズを準備する

⑬最終報告会

日時 令和5年3月4日（土）19:00～21:00

出席者 住吉字：字役員＋参加者

知名町：永野課長補佐

(株)アネシス：金子（満）、吉留

【内容】

- ①本プロジェクトのこれまでの経緯報告
- ②住吉字を住みよい字にするために字のみなさんと考えた内容の報告
- ③質疑応答

添付資料「最終報告会資料」を
活用

令和4年度コロナ禍・後を見越した新たな地域コミュニティ構築事業「住吉字プロジェクト」活動報告まとめ

期間 令和4年8月23日（火）～令和5年3月24日（月）

日数 214日間

字への訪問回数 7回